

## 成田市教育委員会会議臨時会会議録【会議概要】

平成22年5月教育委員会会議：臨時会

期日 平成22年5月14日（金） 開会 午後4時00分  
閉会 午後4時50分

会場 成田市役所 503会議室（5階）

### 出席委員

委員長	荒井 清	委員長職務代理者	小川 信子
委員	山口 恵子	委員	秋山 皓一
教育長	佐藤 玉江		

### 出席職員

教育長	佐藤 玉江(再掲)	教育総務部長	関川 義雄
生涯学習部長	吉田 昭二	教育総務課長	坂本 公男
学務課長	小館 修	教育総務課主幹（書記）	秋山 雅和

傍聴人：0人

### 【会議概要】

1. 委員長開会宣言
2. 議 事

議案第1号 学校職員の人事に関する内申について、非公開の議決。

（これより非公開とする）

議案第1号 学校職員の人事に関する内申について

〈 議決結果 〉

可 決

(これで非公開を終る)

## 2. 報告事項

議長：4. その他として何かありますか。

委員長：2 つほど確認をしたい。1 番目は、今日の昼のTVニュースでやっていたが、来年度からの新教育課程の導入に伴い、東京都の7割程度の学校が土曜日も月2回程度は授業を実施するとのこと。保護者は敏感になっていると思うが、市の教育委員会としてはどう考えているかの共通理解も必要ではないか。

2 番目は市民からということだが、生涯学習センターの建設計画について、どうなっているか。それと、一部の人の意見かもしれないが、生涯大学院のカリキュラムに新鮮味が無く、又今年も同じかという声がある。社会教育指導員の長田正友さんを交え、新しいカリキュラム、プログラムを考えて欲しい。

関川教育総務部長：1 番目について、市民からもまったく同じ内容の質問があった。市としては、学校の授業時間数を確保するために、学校管理規則を変えて、夏休み期間中に特別に授業が出来るような取り組みをした。授業時間数を確保するという面では夏休み等長期休業期間中に授業を行えるようにし、あえて土曜日に授業をしなくても良いようにしてある。職員の勤務時間、休暇等に関する条例があり、土曜日授業を行うことは定められた勤務時間が超過することになり、職員に振替え休暇を与えなければいけないこととなる。それも休暇付与の期限も定められているので、土曜日授業は難しい面が色々ある。いつでも土曜日に授業が出来るということにはならない。関係規則の改正をしなければ事実上は土曜日の授業は困難。従って国レベルでの改正が必要ということ。成田市としては管理規則を改正したので、その中でうまく運用してもらえない。但し、殆どの学校でほぼ毎日6時間授業であり、運用も難しいということがある。

委員長：移行期間での取り組みを整理していくことが必要だと思う。毎日6時間の授業があり、生徒の負担増となるのが明確になれば対処しなければいけない。前年度も移行期間としてやってきているので、そろそろ対処が必要なものについて、問題点が洗い出せる時期に来ているのではないか。

吉田生涯学習部長：生涯学習センターの建設計画については、詳細は分かりかねるが、現在の赤坂センタービルは今年度中に取り壊し、跡地を市が購入する予定とな

っている。その跡地に、生涯学習センター的なもの、老朽化の進んでいる図書館・公民館等の建替えということを含めた複合施設が検討されている。しかし、時期も決まっていなければ、次期5カ年計画等にも盛り込まれていない状況で、計画的には進んでいない。

生涯大学院のカリキュラムの件は、確かに生徒からも前年度の繰り返しで新鮮味が無い等の指摘もされているが、だれもが学習できる内容となっている。また、参加者の多くが高齢で、学習目的もあるが、それ以上に友達を作りに来ているという面もある。カリキュラムのマンネリ化については、昨年よりその点を改善するために、ご意見箱や級長会議を設けて生徒からも意見をもらったりしている。そのような状況のなかで、社会教育指導員に長田先生をお願いすることとした。先生の知識、人脈などを活用し、新しい講師を安くお願いするなど改善を進めていく。今年については、計画の途中からの参加なのでカリキュラムが出来てしまっていた部分もあり、来年度からの改善を十分に図っていきたい。

佐藤教育長：今年度から音楽と体操を専門講座に組み込んだ。これまでは園芸と陶芸と書道と油絵しかなかったが、少し楽しめるような科目も増やした。

同じカリキュラムでも、新しい先生を頼み、開校式などでもとても期待の持てる話を伺うことが出来、今年の授業を楽しみに思っている。

## 5. 委員長閉会宣言